

**降誕節第4週 主日礼拝**

2019年1月20日 第一礼拝(午前8:00~) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(午後7:30~)

前奏	(新聖歌41)		
招きのみことば	『申命記』8章2-5節	司会者	
※開会の賛美	新聖歌2「たたえよ救い主イエスを」	—	同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	—	同
代表祈禱	.....	司会者	
感謝の賛美	新聖歌99「馬槽の中に」	—	同
聖書朗読	『ルカの福音書』4章1-13節(新約113頁)	司会者	
黙想	.....	—	同
メッセージ	「誘惑への必勝法」	近伸之牧師	
※応答の賛美	新聖歌444「屈するなかれ」	—	同
感謝の献金	(新聖歌58)	—	同
感謝祈禱	.....	山崎敬典兄	
諸案内	(来信・集会案内)	司会者	
諸報告	(来会者紹介・報告・暗唱聖句)	近伸之牧師	
※頌栄の賛美	新聖歌63「父御子御霊の」	—	同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—	同
※祝福の祈り	.....	近伸之牧師	
※後奏	(新聖歌59-7)		

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします)  
(演奏機の曲は、楽譜と違う表現で流れる事があります。)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
司集	会：片山浩司兄 会：渡邊智子姉 小林洋子姉	映像・音響：伊東一馬兄 説教の録画：近伸之牧師	C S 担当：佐藤繁実兄 カナン進行：渡邊智子姉 ※掃除当番は右表参照

**説教メモ**

1. イエスは、聖書だけで悪魔と戦った。聖書66巻は完全な救いを与え、付け加える必要はないのちの書
  2. 第一の誘惑は、自由を教唆されたアダムとエバ(創3章)のリベンジ。アダムは敗北したが、主は勝利した
  3. 第二の誘惑は、十字架を通らずに栄光を受けよという、苦難への近道(抜け道)。主は、即座に拒絶した
  4. 第三の誘惑は、聖書は聖書で解釈するという原則を示す。自分の願ひ事に聖書を都合よく用いるなかれ
- 結. 誘惑への必勝法は、聖書に従うということ。それは地味な戦いだが、これ以外に着実な勝利への道はない

**今週の暗唱聖句**

「心を尽くして主に抛り頼め。自分の悟りに頼るな。あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。  
主があなたの進む道をまっすぐにされる」  
(『箴言』3章5~6節)

[敬和学園の学生用] 牧師のサイン ( )

**個人、団体からの来信**

2019年1月20日

PBAよりDVD/同盟青年「映画上映会&カレーランチ」の案内[1月26日(土)新津にて]/  
ライフ・ラインチャリティー音楽会の案内[2月16日(土)三条福音キリスト教会にて14:00開演]/  
宣教区壮年会より、食事会変更の案内[2月16日→2月23日(土)]/BEGiNより、会計報告

**先週の集会出席者数**

1/13(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計- 成人男性1 幼児女子2 小学女子1 中学女子- 高校女子- 女児計3 成人女性-		
	第一礼拝	男2 女2	※月に一回、書道教室を開催。	
	第二礼拝(子ども)	男14 女17 男児1 女児5	1/14(月・祝) 月曜家庭集会 (休会) 1/16(水) 新潟山形僚禱会 男4 女6	
	夕拝	男1 女1	1/18(金) しゃべり場夕ピタ 男- 女3 1/18(金) 金曜祈禱会 男- 女3	

**諸集会のご案内**

書道教室	※月に一回、書道教室を開催	
月曜家庭集会	1/21(月)午後8:00	山崎岩雄兄宅
宣教報告会	1/23(水)夜	司会：近伸之牧師 宣教報告：齋藤五十三師
しゃべり場夕ピタ	1/25(金)午後1:30	渡邊智子姉宅 問合せ先：小山千春姉
金曜祈禱会	1/25(金)夜	教会堂

1/27(日) 降誕節第5週

第一礼拝 午前8:00	司会：近伸之牧師 説教	音響：片山勝三兄 献金：沼田佐代子姉	
教会学校 午前9:00	担当：片山初子姉		
歓迎礼拝 午前10:30	司会：山崎敬典兄 集会：小林洋子姉 小山千春姉	映像・賛美：賛美チーム他 説教の録音：片山勝三兄 説教の録画：近伸之牧師	感謝祈禱：横堀信子姉 ※掃除当番は下表参照
教会学校奉仕	1/6[片山姉] 1/13[近牧師] 1/20[佐藤兄] 1/27[片山姉] 2/3[近牧師]		
掃除当番順	1/6[長谷川姉] 1/13[山岸姉] 1/20[横堀姉] 1/27[渡邊姉] 2/3[猪爪姉]		
主日の予定	役員会	礼拝後	(総会準備)
夕拝 午後7:30	司会：近伸之牧師 説教	礼拝箇所 『ルカの福音書』4章14-30節	

**報告**

1. 礼拝の感謝  
主日礼拝の恵みを感謝いたします。いただいたみことばをかみしめて歩いていきましょう。礼拝後は昼食をいただき、午後2:00よりカナン訪問を行います。
2. 総会資料の提出について  
総会資料の原稿提出は本日締め切りとなります。各担当の方はよろしくお願いします。
3. 宣教報告会について  
かねてより案内していました通り、齋藤五十三宣教師が昨夏に本帰国され、今週23日(水)に当教会で報告会を持ってくださる運びとなりました。当日は午後7:00から先生を囲んで夕食(お弁当)をいただきます。夕食に集える方は、掲示板の案内を参考に、本日中にお弁当の注文をお願いします。
- 4.

弁慶の泣きどころといたらむこうずねで、ギリシャ神話に出てくるアキレスの弱味は踵、つまりアキレス腱だったといわれ、共通して足に弱点があったというもおもしろいですが、いずれにしても洋の東西を問わず、英雄豪傑といえどもどこかに弱点を持っているものだという例でもあろうかと思えます。

ふつう私たちは、なんでも弱いよりは強い方がよく、弱点などはない方がいいと考えがちです。しかし聖書には、「喜んで私の弱さを誇る」(Ⅱコリント12・9)と言っている所があるのです。これは史上最大の伝道者と言われるパウロの言葉ですが、彼によれば、弱さは恥ずかしいことではなく、むしろ誇りであるとさえ言うのです。それはいったいどういう意味なのでしょう。

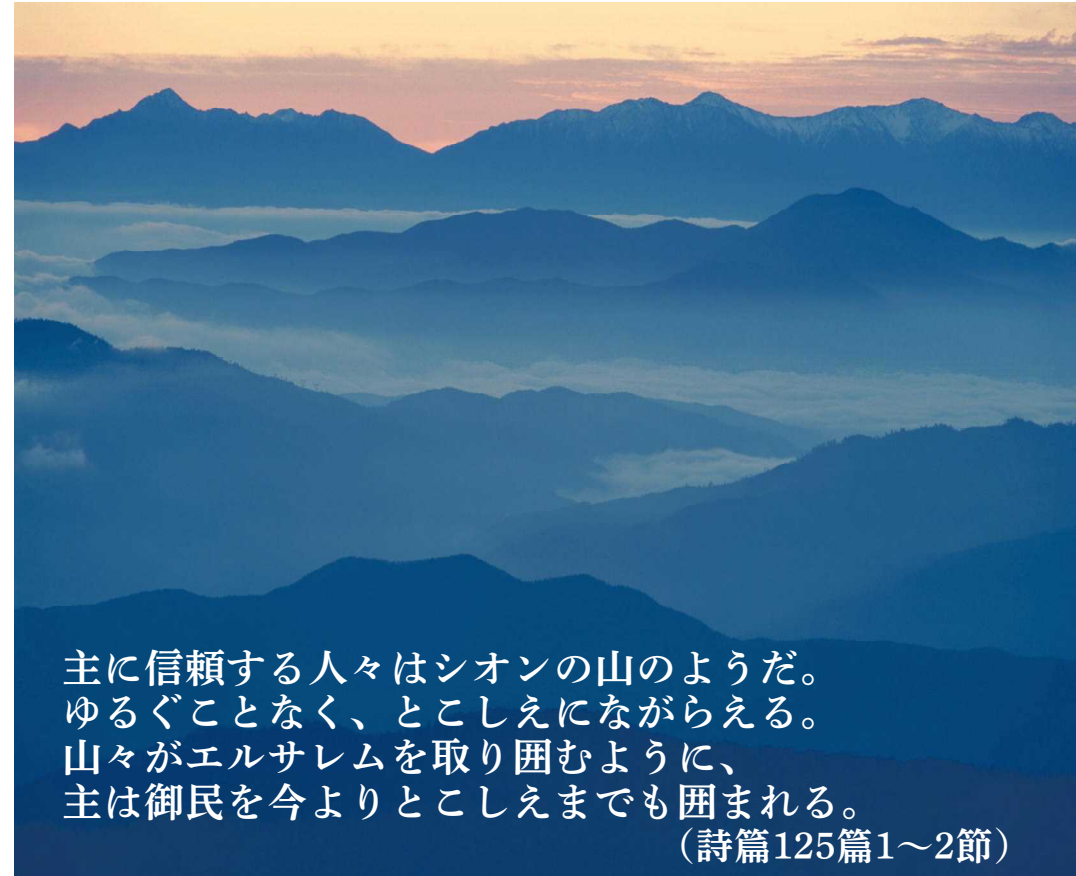
これはもしものことですが、何の弱点も欠点もない人間が本当にいたとしたらどうでしょう。その人はきっと、人の弱さや痛みを思いやることもできない冷血漢のような人間であるにちがいありません。弱さや痛みを知っていればこそ人間は、同じく弱点や欠点を持つお互いを理解し、思いやることができる人になれるというものなのではないでしょうか。ですから、弱点を持っていることは悪いことなのではなくむしろ、時に美德とさえなり得ると考えたいものです。

ただし大切なことは、自分の弱さを弱さとして率直に認める勇気を持つことです。謙虚さや向上心は、本当は自分の弱さを率直に認

める心からだけ生まれるものなのだろうと思います。ですからパウロが「喜んで私の弱さを誇る」と言うのは「キリストの力が私をおおするために」(同)だと言っているのです。なぜなら、自らの弱さを知れば知るほど、人は主に近づき、主の助けを真剣に求めるようになり、そのことによって神様から十分なゆるしといやしと、そして力とを受けることができることを彼は知っていたからにちがいありません。

聖書によりますならば、弱点や欠点だらけの私たちをよくしてくださるために、主が私たちの弱さをご自分の身に引き受けてくださったということを知ることができます。大能の神が、か弱いひとりのみどり子としてこの世においでくださったことから始まって、あの十字架はその弱々しさの極みであったということができましよう。

しかし弱さと見えたあの十字架、じつはそれが私たちの弱さのゆえのすべての不始末、すなわち罪を全く解決するためにこそ身をそこに置かれたのであり、そして復活によってその大能の強さをいかに発揮されたのであります。まさに弱さから強さへのどんでん返しをそこに見ることができます。ですから私たちもキリストを信じる時、私たちの人生にも、弱さから強さへのどんでん返しを経験することができるのです。



主に信頼する人々はシオンの山のようだ。  
ゆるぐことなく、とこしえにながらえる。  
山々がエルサレムを取り囲むように、  
主は御民を今よりとこしえまでも囲まれる。  
(詩篇125篇1~2節)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中  
☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



1/26(土)ライフ・ラインのつどい in 群馬  
「目標を目指して」原田憲夫牧師

昨年10月に群馬県沼田市で「ライフ・ラインのつどい」を行いました。つどいでは、フルート奏者の田辺恵子さん、ピアニストの竹内晃二さんが演奏をし、原田憲夫牧師が「目標を目指して」というタイトルで聖書のメッセージを語りました。番組では、そんな「つどい」の様子を紹介します。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata  
BEGIN。ここから始まるあなたの伝道。

豊栄キリスト教会は、ライフラインを祈りと献金で支援しています。

2018年度教会目標 **「弟子の覚悟をもって」**

「自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません」

(『ルカの福音書』14章27節)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区  
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

TEL:025-387-4934 FAX:025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.net>

電子メール: [info@toyosakakyokai.net](mailto:info@toyosakakyokai.net)

ブログ: <http://www.toyosakakyokai.sblo.jp>

